

慢性歯周炎の非外科的治療により 2型糖尿病患者の血糖値が改善することはない

慢性歯周炎は、歯を支える支持組織が炎症により破壊される疾患であるが、糖尿病患者に高頻度にみられることが知られている。歯周病の治療により血糖コントロールが改善するという報告はあるがわずかである。

そこで、本研究では2型糖尿病をもつ中程度から重度の歯周病の患者に非外科的な歯周病治療を行うことにより、糖化ヘモグロビン（HbA_{1c}）のレベルが減少するか否かについて検討した。

被験者は、未治療の慢性歯周炎と2型糖尿病があり、糖尿病については投薬治療を受けていてHbA_{1c}レベルが7%から9%の者とした。2009年11月から2012年3月までに514人が登録された。治療群（257人）はスケーリングおよびルートプレーニング、そしてクロルヘキシジンによる口腔内洗浄を試験開始時、3か月後、6ヶ月後に行った。対照群（257人）には6ヶ月間、治療を行わなかった。

結果として、この試験が無益であると判断され、登録は早期に打ち切られた。6か月後のHbA_{1c}レベルは治療群で0.17%増加、対照群で0.11%増加したが両群間に有意な差はみられなかった。歯周組織についての測定値は、対照群に比べて治療群では有意に改善し、歯肉溝の深さは0.28mm、臨床的歯肉付着の喪失は0.25mm、プロービング時の歯肉出血は13.1%、歯肉炎指数は0.27改善した。

したがって、2型糖尿病をもつ中程度から重度の歯周病の患者に非外科的な歯周病治療を行うことにより、糖化ヘモグロビン（HbA_{1c}）のレベルに改善はみられなかった。

出典：Journal of American Medical Association. 2013; 310(23): 2523-2532